

Data Transfer(データ転送ツール)ガイド

Ver.1.3

ファイルフォース株式会社

目次

1.	Data Transfer(データ転送ツール)ガイドについて	2
1-1.	システム要件.....	2
1-2.	制限事項	2
2	Data Transfer(データ転送ツール)の利用手順.....	3
❖	注意点.....	4
❖	差分移行を行う場合の注意点.....	5
3	転送結果の確認	18

改訂履歴

版	日付	項目	ページ	改訂内容(概要)
初版	2019/02/26			
1.1	2019/04/24	2	5,6	差分移行を行う場合の注意点追加
1.1	2019/04/24	2	10	Data Transfer のバージョンと差分移行の注意点追加
1.2	2019/05/24	1-1	2	.NET Framework のバージョンを変更
1.3	2019/05/28	2	4	注意点(ワンタイムパスワード認証が有効の場合)を追加

1. Data Transfer(データ転送ツール)ガイドについて

Data Transfer(データ転送ツール)ガイド(以下、本ガイド)は、Data Transfer(データ転送ツール)の設定、操作方法について記載しております。

1-1. システム要件

Data Transfer(データ転送ツール)のシステム要件は下記となります。

OS : Windows7 SP1 以上 64-bit

Windows Server 2008 R2 以上

ソフトウェア : .NET Framework 4.6.2 以上

空きメモリ : 4GB 以上

Data Transfer(データ転送ツール)を動かすディスクの空き容量 : 10GB 以上

1-2. 制限事項

Data Transfer(データ転送ツール)の制限事項は下記となります。

1 回のスキャンで対応できるファイル数 : 500 万ファイルまで

スキャンでスキップされるフォルダ :

X:¥RECYCLER

X:¥System Volume Information

X:¥\$RECYCLE¥.BIN

スキャンでスキップされるファイル :

desktop.ini

thumbs.db

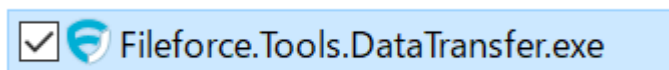
.DS_Store

~\$から始まるファイル(例 : ~\$sample.docx)

* 大文字小文字は区別されません。

2 Data Transfer(データ転送ツール)の利用手順

1. Fileforce.DataTransfer.<version(例 : 1.0.13305)>.zip を解凍し、
[Fileforce.Tools.DataTransfer.exe]をダブルクリックします。



2. 必要箇所を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

①ドライブ用プロファイル

Fileforce® Drive を利用の際にインストールしたプロファイルを「参照」ボタンをクリックし、指定してください。

* プロファイルが複数ある場合は、③ログイン情報に入力するログイン ID が利用するプロファイルを指定します。

* プロファイルは一度読み込むと、プロファイルのファイル自体 (ff-profile) は不要となります。プロファイルは、Fileforce® Web の[管理コンソール]よりダウンロードすることができます。

プロファイルのダウンロード方法：

[管理コンソール]－[アプリケーション]をクリックします。

[プロファイルの設定タブ]をクリックし、[ダウンロード]をクリックします。



②プロキシの設定

プロキシサーバーをご利用の場合は、サーバーアドレス、ユーザ名等入力ください。

③ログイン情報

Fileforce®のログイン ID とパスワードを入力します。

❖ 注意点

Fileforce® Drive と Data Transfer(データ転送ツール)を同じログイン ID で同時に利用することができません。

Data Transfer(データ転送ツール)利用の間、Fileforce® Drive を利用しないログイン ID を入力してください。

ワンタイムパスワード認証を有効にしているログイン ID で、データ転送ツールにログインすることはできません。

ワンタイムパスワードを有効にしているログイン ID はご利用いただけませんので、データ転送前にワンタイムパスワード認証をオフにするか、別のログイン ID でデータ転送を行ってください。

ログイン ID は転送先(Fileforce®上)フォルダに対し、書き込み権限(*1)を持っている必要があります。

*1 プリセットされている一般フォルダロールの場合は、[編集]と[フルコントロール]が該当します

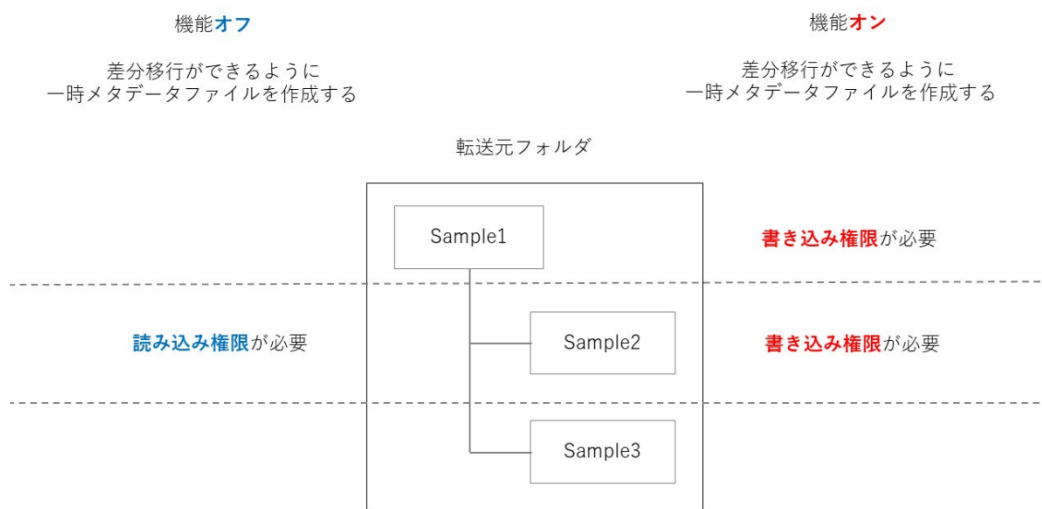
❖ 差分移行を行う場合の注意点

次画面の[ソース&デスティネーション]画面にて、[差分移行ができるように一時メタデータファイルを作成する]にチェックを付けた場合は、転送元のフォルダに対する書き込み権限と、転送元フォルダの親フォルダに対する書き込み権限も必要となります。

例①

[差分移行ができるように一時メタデータファイルを作成する]にチェックを付け、ファイルサーバー上の Sample1 フォルダ内にある Sample2 フォルダを転送元フォルダに指定した場合

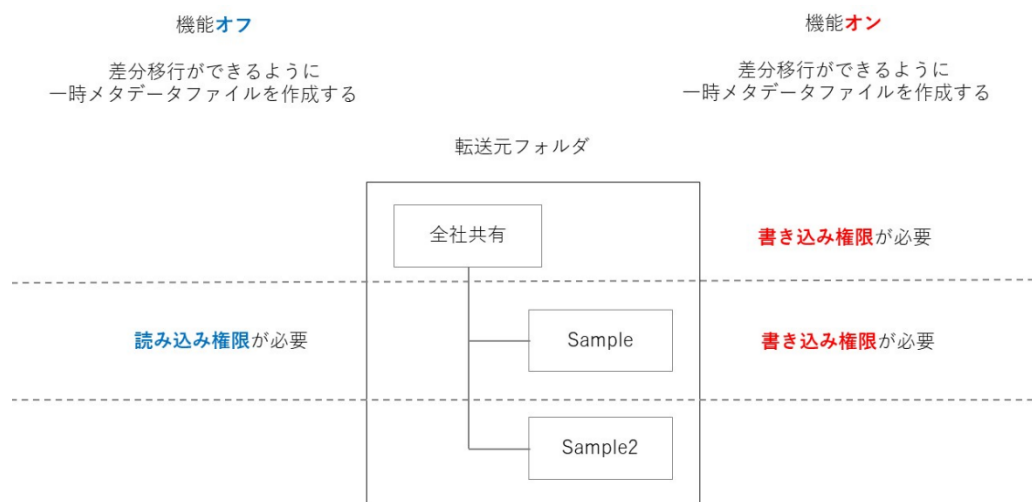
- ・ 転送元である[Sample2]フォルダに対して書き込み権限が必要
- ・ 転送元である[Sample2]フォルダの親フォルダである[Sample1]フォルダに対して書き込み権限が必要



例②

[差分移行ができるように一時メタデータファイルを作成する]にチェックを付け、Fileforce®の全社共有フォルダ内にある Sample フォルダを転送元フォルダに指定した場合

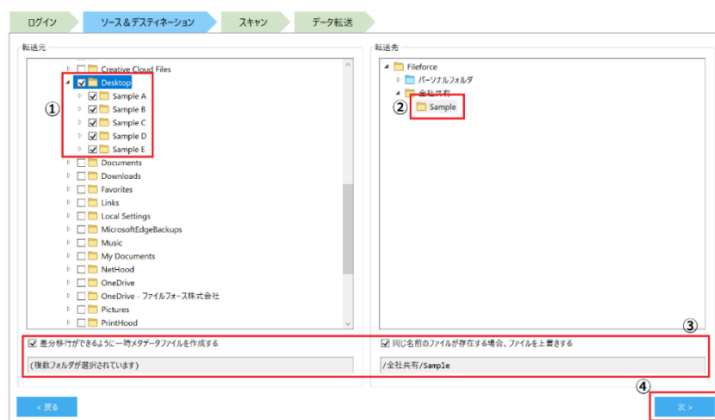
- ・ 転送元である[Sample]フォルダに対し、書き込み権限
(プリセットされている一般フォルダロールの[編集], [フルコントロール])が必要
- ・ 転送元である[Sample]フォルダの親フォルダである[全社共有]フォルダに対して
書き込み権限
(プリセットされている一般フォルダロールの[編集], [フルコントロール])が必要



差分移行できるようにデータ転送をする場合、転送元フォルダとして[全社共有]または[パーソナルフォルダ]を指定することはできません。

転送元の親フォルダに対し書き込み権限が必要ですが、仕様により Fileforce®がマウントされているドライブ(デフォルトでは Z ドライブ)に書き込みができないためエラーとなります。

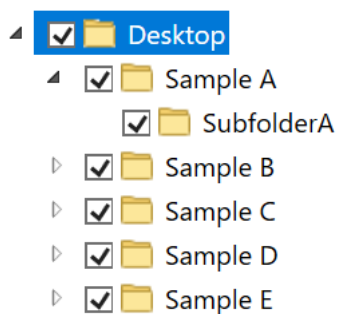
3. 転送元(①)と転送先(②)を指定し、転送方法(③)を選択後、「次へ」ボタンをクリックします。



①転送元フォルダの選択

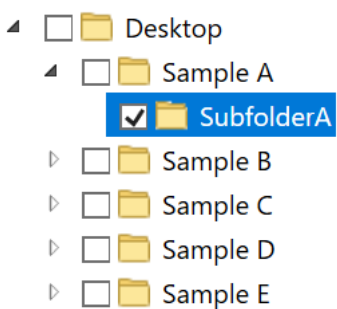
Fileforce®に転送したいフォルダを選択します。

フォルダの指定は、上位のフォルダにチェックを付けることで、下位のフォルダも自動的に選択されるようになっています。



特定のフォルダ単位の指定も可能です。

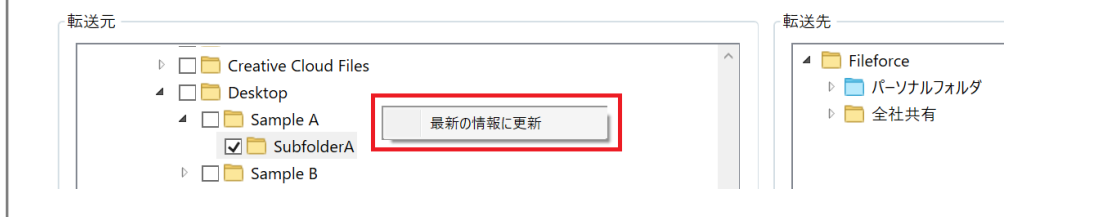
また異なる階層のフォルダを複数指定することも可能です。



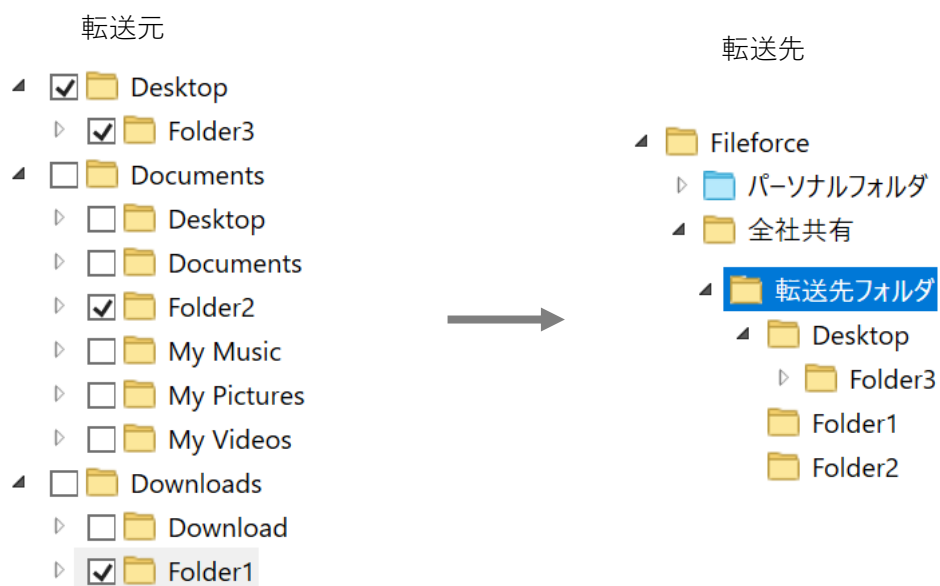
②転送先フォルダの選択

データを保管する Fileforce®のフォルダを選択します。

Data Transfer(データ転送ツール)は、前回画面を閉じた情報を保持します。
前回画面を閉じた際とフォルダの階層や名称等に変更がある場合は、画面上を右クリックし、[最新の情報に更新]をクリックしてください。



転送元として異なる階層の複数フォルダを選択した場合、選択されている各トップフォルダ(“房”のトップ)が転送先フォルダの直下に転送されます。



③転送方法の選択

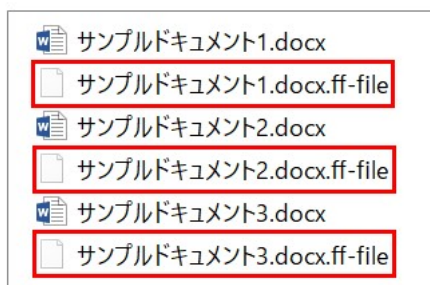
❖ 差分移行ができるように一時メタデータファイルを作成する

オプションを有効にすると、転送に成功した各ファイル / フォルダごとにメタデータファイルが作成されます。

次回の転送時にはメタデータファイルとの比較を行い、更新されていない場合は転送の対象に含みません。

差分の比較対象となる内容は、ファイルの作成日、更新日時、ファイルサイズとなります。

例：差分移行のオプションを有効にしてデータ転送を行った場合



メタデータファイルは「隠しファイル」となっておりますが、隠しファイル属性に対応していない NAS や、エクスプローラーで隠しファイルを表示するようにしている場合はメタデータが表示されます。

メタデータファイルの拡張子は、以下となります。

ファイル用 *.ff-file

フォルダ用 *.ff-folder

差分ファイルについての詳細は 別紙[データ転送ツール 差分検知について] を参照ください。

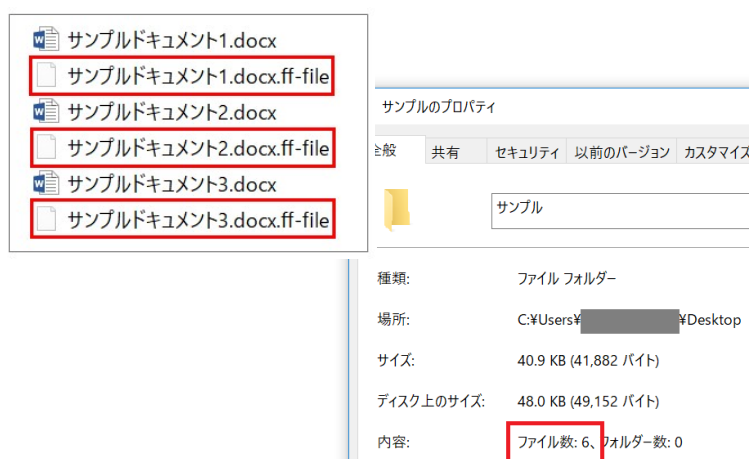
注意①

Data Transfer(データ転送ツール)のバージョン 1.0.13376 より前のバージョンの Data Transfer(データ転送ツール)にて、[差分移行ができるように一時メタデータファイルを作成する]をオンにして転送を実施した後、Data Transfer(データ転送ツール)のバージョン 1.0.13376 を使用し転送を実施すると差分検知ができません。
(メタデータの形式が異なるため)

その場合、転送完了まで Data Transfer(データ転送ツール)のバージョン 1.0.13376 の前のバージョンをご利用いただくか、Data Transfer(データ転送ツール)のバージョン 1.0.13376 にて再度データ転送をご実施後、差分移行をお願いいたします。

注意②

メタデータファイルが作成されることでフォルダ内のファイル数は倍となります。



データ転送後、転送元フォルダと転送先フォルダのプロパティを比較すると、メタデータファイルが作成されていることでファイル数に差異が生じます。
転送後、確認の際にはメタデータファイルを削除してから行ってください。

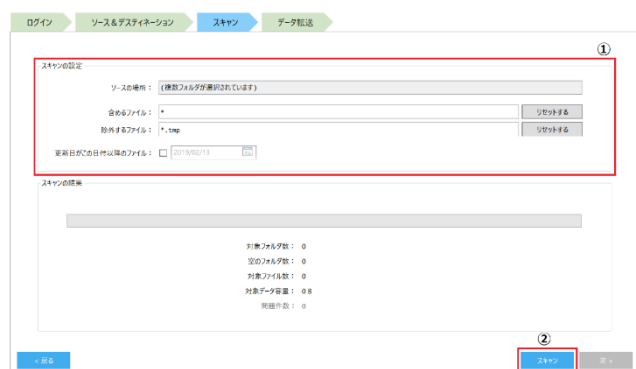
❖ 同じ名前のファイルが存在する場合、ファイルを上書きする：

オプションが有効の場合、転送先に同名ファイルが存在する場合に上書きをします。

オプションが無効の場合は、同名ファイルをスキップし転送しません。

ファイル名が同じかどうかのみ確認をしています。

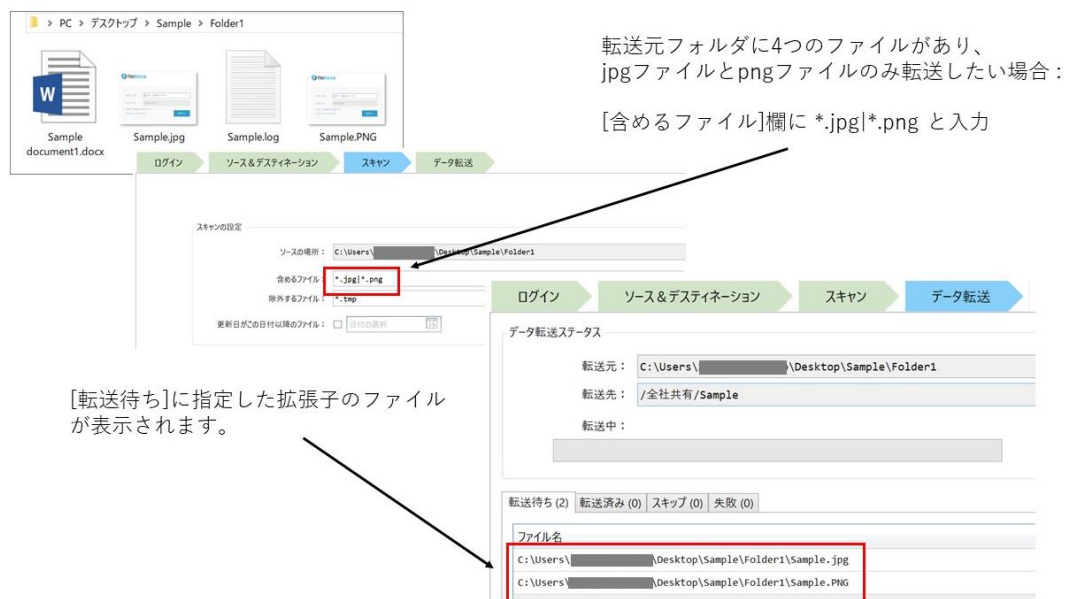
4. [スキャンの設定]を確認し、「スキャン」ボタンをクリックします。



[スキャンの設定]の項目について：

❖ 含めるファイル

ワイルドカードを使用して転送の対象とするファイルを指定することができます。

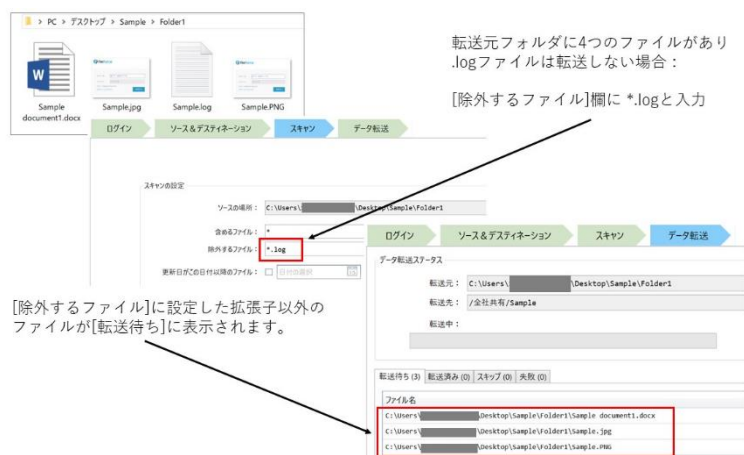


バーティカルバー [|]で複数の指定が可能です。

入力例：*.jpg|*.png

❖ 除外するファイル

ワイルドカードを使用して、転送の対象から除外するファイルを指定することができます。



バーティカルバー [|]で複数の指定が可能です。

入力例：*.jpg|*.png

❖ 更新日がこの日付以降のファイル

「更新日」が指定日以降のファイルのみ転送の対象とすることができます。

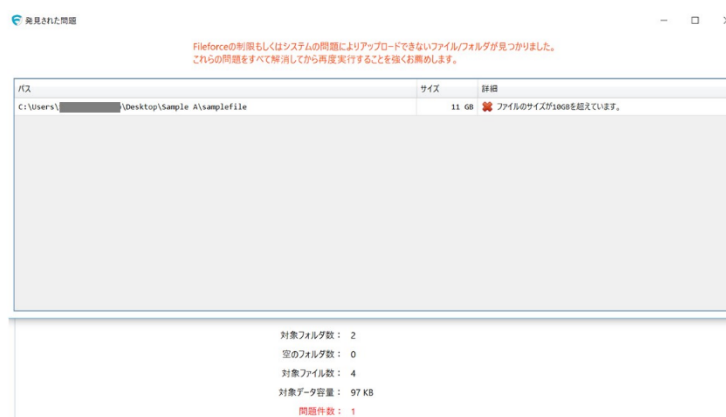
5. スキャン完了後、「次へ」ボタンをクリックします。



スキャンすると、5つの項目に対しての結果が表示されます。
 (対象フォルダ数、空のフォルダ数、対象ファイル数、対象データ容量、問題件数)



問題が発見された場合、問題件数にカウントされます。
 [問題件数]をクリックすると、発見された問題画面が表示され、[詳細]に問題となった理由が記載されます。



詳細に表示される内容：

①	アクセスが拒否されました。	転送元フォルダへのアクセス権がありません。転送元フォルダに対するアクセス権を持つユーザで実行するか、転送元フォルダのアクセス権を変更し、データ転送をリトライしてください。
②	ファイルのサイズが 10GB を超えています。	Fileforce®へアップロードできる 1 ファイルのファイルサイズの上限は 10GB となっています。圧縮、分割等でファイルサイズを変更し、データ転送をリトライしてください。
③	階層の深さは 30 を超えています。	Fileforce®のフォルダ階層の上限は 30 階層までとなっています。フォルダ階層を変更し、データ転送をリトライ

		してください。
④	無効なファイル名です。	Unicode に存在しない文字やファイルシステムの破損等の問題により表示されます。 ファイルの状態を確認してください。
⑤	転送元のパスの長さが 260 文字を超えています。	Fileforce®の最大パス長は 255 文字までとなっています。
⑥	転送先のパスの長さが 255 文字を超えています。	ファイル名・フォルダ名の長さ、階層等変更し、データ転送をリトライしてください。
⑦	直下に 10000 以上のファイルが含まれています。	Fileforce®は 1 つのフォルダに保存できるファイル数の上限が 10,000 ファイルまでとなります。 ファイル数を変更し、データ転送をリトライしてください。
⑧	直下に 1000 以上のサブフォルダが含まれています。	Fileforce®は 1 つのフォルダに保存できるフォルダ数の上限が 1,000 フォルダまでとなります。 フォルダ数を変更し、データ転送をリトライしてください。

発見された問題を解決してから、改めて「スキャン」し、データ転送を開始してください。
問題を解決せず次画面へ進み「開始」ボタンをクリックしても、データは転送の対象外として扱われるため、転送されません。

6. 「開始」ボタンをクリックします。

ログイン ソース&デスティネーション スキャン **データ転送**

データ転送ステータス

転送先: /全社共有/Sample 最大帯域: 制限なし 経過時間: 00:00:00
 全体進捗: 転送済みデータ: 0 B / 347 KB 完了予定: 00:00:00

転送待ち (18) | 転送済み (0) | スキップ (0) | 失敗 (0)

ファイル名	サイズ	進捗	ステータス
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SubfolderA	フォルダ		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample A\Sample documentA.docx	13 KB		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.jpg	48 KB		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.log	0 B		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.PNG	35 KB		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample B\Sample documentB1.docx	13 KB		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample B\Sample documentB2.docx	13 KB		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample B\SampleB.jpg	48 KB		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample B\SampleB.log	0 B		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample B\SampleB.PNG	35 KB		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample C\Sample documentC1.docx	13 KB		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample C\Sample documentC2.docx	13 KB		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample D\Sample documentD1.docx	13 KB		待機中...
C:\Users\...\Desktop\Sample D\Sample documentD2.docx	0 B		待機中...

< 戻る **開始**

❖ 最大帯域について

1Mbps から 100Mbps の間で最大帯域を設定することができます。

❖ 進捗

データ転送の間は[進捗]欄で進捗状況を確認することができます。

ログイン ソース&デスティネーション スキャン **データ転送**

データ転送ステータス

転送先: /全社共有/Sample 最大帯域: 制限なし 経過時間: 0.00:00:00
 全体進捗: 転送済みデータ: 0 B / 347 KB 完了予定: 0.00:00:00

転送待ち (18) 転送済み (0) スキップ (0) 失敗 (0)

ファイル名	サイズ	進捗	ステータス
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SubfolderA	フォルダ		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample A\Sample documentA.docx	13 KB		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.jpg	48 KB		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.log	0 B		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.PNG	35 KB		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample B\Sample documentB1.docx	13 KB		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample B\Sample documentB2.docx	13 KB		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample B\SampleB.jpg	48 KB		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample B\SampleB.log	0 B		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample B\SampleB.PNG	35 KB		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample C\Sample documentC1.docx	13 KB		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample C\Sample documentC2.docx	13 KB		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample D\Sample documentD1.docx	13 KB		転送中...
C:\Users\...\Desktop\Sample D\Sample documentD2.docx	0 B		転送中...

< 戻る 停止

7. データ転送が完了すると、ファイルは[転送済み]タブに表示されます。

ログイン ソース&デスティネーション スキャン **データ転送**

データ転送ステータス

転送先: /全社共有/Sample 最大帯域: 制限なし 経過時間: 0.00:00:01
 全体進捗: 転送済みデータ: 347 KB / 347 KB 完了予定: 0.00:00:00

転送待ち (0) 転送済み (18) スキップ (0) 失敗 (0)

ファイル名	サイズ	ステータス
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.log	0 B	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SubfolderA	フォルダ	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample C\Sample documentC1.docx	13 KB	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.jpg	48 KB	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample D\Sample documentD2.docx	0 B	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.PNG	35 KB	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample B\SampleB.log	0 B	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample B\Sample documentB1.docx	13 KB	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample C\Sample documentC2.docx	13 KB	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample D\SampleD.log	0 B	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample D\Sample documentD1.docx	13 KB	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample B\SampleB.PNG	35 KB	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample A\Sample documentA.docx	13 KB	転送済み。
C:\Users\...\Desktop\Sample D\SampleD.jpg	48 KB	転送済み。

< 戻る 開始

❖ スキップ：

[同じ名前のファイルが存在する場合、ファイルを上書きする]をオフにした状態で、同名ファイルを転送した場合は、転送せずにスキップします。

スキップしたファイルが[スキップ]タブに表示されます。

❖ 失敗：

何らかの原因(例：転送先フォルダにアクセス権がない場合)で転送が失敗した場合は、[失敗]タブに表示されます。

転送待ち (0) 転送済み (0) スキップ (0) 失敗 (5)		
ファイル名	サイズ	ステータス
c:\Users\...\Desktop\Sample A\SubfolderA	フォルダ	✖ アクセスが拒否されました。
c:\Users\...\Desktop\Sample A\Sample documentA.docx	13 KB	✖ アクセスが拒否されました。
c:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.PNG	35 KB	✖ アクセスが拒否されました。
c:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.jpg	48 KB	✖ アクセスが拒否されました。
c:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.log	0 B	✖ アクセスが拒否されました。

ステータスに表示される内容

①	アクセスが拒否されました。	転送先フォルダへのアクセス権がありません。 [管理コンソール]より転送先フォルダに対するアクセス権を変更するか、転送先フォルダに対してアクセス権を持つログイン ID で Data Transfer(データ転送ツール)へログインし、データ転送をリトライしてください。
②	ファイルのサイズが 10GB を超えています。	Fileforce®へアップロードできる 1 ファイルのファイルサイズの上限は 10GB となっています。圧縮、分割等でファイルサイズを変更し、データ転送をリトライしてください。
③	階層の深さは 30 を超えています。	Fileforce®のフォルダ階層の上限は 30 階層までとなっています。 フォルダ階層を変更し、データ転送をリトライしてください。
④	無効なファイル名です。	Unicode に存在しない文字やファイルシステムの破損等の問題により表示されます。 ファイルの状態を確認してください。
⑤	転送元のパスの長さが 260 文字を超えています。	Fileforce®の最大パス長は 255 文字までとなっています。
⑥	転送先のパスの長さが 255 文字を超えています。	ファイル名・フォルダ名の長さ、階層等変更し、データ転送をリトライしてください。

⑦	直下に 10000 以上のファイルが含まれています。	Fileforce®は 1 つのフォルダに保存できるファイル数の上限が 10,000 ファイルまでとなります。 ファイル数を変更し、データ転送をリトライしてください。
⑧	直下に 1000 以上のサブフォルダが含まれています。	Fileforce®は 1 つのフォルダに保存できるフォルダ数の上限が 1,000 フォルダまでとなります。 フォルダ数を変更し、データ転送をリトライしてください。

* ステータスには上記以外のシステムエラーが表示されることがあります。

❖ データ転送のリトライ

[スキップ]や[失敗]タブに表示されたファイルを右クリックすると、転送をリトライすることができます。

[全てリトライ]をクリックすることで、[スキップ]や[失敗]に表示されているファイルをすべて再転送することができます。

転送待ち (0) 転送済み (0) スキップ (0) 失敗 (5)		
ファイル名	サイズ	ステータス
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SubfolderA	フォルダ	✖ アクセスが拒否されました。
C:\Users\...\Desktop\Sample A\Sample documentA.docx	13 KB	✖ アクセスが拒否されました。
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.PNG	35 KB	✖ アクセスが拒否されました。
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.jpg	48 KB	✖ アクセスが拒否されました。
C:\Users\...\Desktop\Sample A\SampleA.log	0 B	✖ アクセスが拒否されました。

3 転送結果の確認

Data Transfer(データ転送ツール)のフォルダ内にある[Project]フォルダに、転送結果をCSV ファイルで出力しています。

- ◆ Transferred.csv 転送済みの結果を記録しています。
- ◆ Pending.csv 転送待ちの結果を記録しています。
- ◆ Ignored.csv スキップの結果を記録しています。
- ◆ Failed.csv 失敗の結果を記録しています。
- ◆ Problems.csv スキャンの際に検出された問題を記録しています。

注意：

転送結果は、転送作業のたびに各ファイルに上書きされます。
上書き保存されるため、過去の結果の記録は残りません。

CSV ファイルの記録確認の前に、必ず Data Transfer(データ転送ツール)を閉じてください。

Data Transfer(データ転送ツール)を閉じる前にファイルを開いてしまうと、結果が正しくファイルに書き込まれない可能性があります。